



GE、中部電力・上越火力発電所における 8 基のガスタービン更新を受注

【東京：2015年9月1日】 GEパワー・ジェネレーション・サービスは本日、中部電力・上越火力発電所 7F ガスタービン 8 基向け、アドバンスト・ガス・パス（AGP）を受注したことを発表しました。

中部電力株式会社 執行役員 発電本部火力部長 栗山 章氏は以下のように述べています。「当社は、これまでも発電設備の保守・点検を実施し、安定供給を果たすとともに、最新鋭の高効率 LNG コンバインドサイクル発電を導入するなど、燃料消費量と CO₂ 排出量の削減に取り組んでおります。今回、GE の最新鋭高温部品（AGP ソリューション）採用によって、燃焼温度が高くなるため、熱効率が約 0.7%向上するとともに、夏季の出力低下を回復する効果があり、燃料消費量や CO₂ 排出量を更に削減することができます。加えて、部品の長寿命化により、従来は 3 年であったガスタービンの点検周期を 4 年へ長期化することが可能となることから、当社のニーズに応え、今後の競争力向上に資すると評価しています。」

GE パワー・ジェネレーション・サービス・アジア・パシフィック・ゼネラルマネージャー、大屋昌之は以下のように述べています。「上越火力発電所向けに、私たちの AGP ソリューションが選定されたことを喜ばしく思います。今回の契約締結は、日本における GE の記念すべき最初の AGP プロジェクトで、既設の発電施設の効率を向上し、またライフサイクルコスト低減を可能にする AGP の具体的なメリットを、多くのお客様に示すことができるため大変重要です。」と述べています。

なお今回、中部電力・上越火力発電所で GE が提供する更新施策は以下の内容です。

- 最新鋭高温部品アドバンスト・ガス・パス（AGP）アップグレードキット、および ガスタービン制御システム（OpFlex*）：高効率化と運用の柔軟性を提供
- DLN2.6 燃焼システム改造：32,000 時間の定期点検周期を実現

上越火力発電所について

2012 年から 2014 年に向け、段階的に営業運転を開始し、国内最高水準の熱効率を誇る最新鋭の火力発電所

GE について

GE は創造力あふれる方法で世界をより良くする企業です。GE はハードウェアとソフトウェアを融合することで、お客様とともに電力供給や運輸、インフラ構築や医療、金融に関わるソリューションを提供し、こうした産業に新たな時代を生み出します。日本における GE の活動については、<http://www.ge.com/jp/> をご覧ください。

GE パワー&ウォーターについて

GE パワー&ウォーターは国や地域ごとの課題を解決する、幅広い発電設備や水処理技術をお客様に提供しています。パワー&ウォーターは風力や太陽光などの再生可能資源、バイオガスと代替燃料、および石炭、石油、天然ガス、原子力エネルギーを含むすべてのエネルギー産業に関わっています。また水の供給とその品質に関して、世界で最も難しい課題を解決する先進的技術の開発も行っています。パワー&ウォーターには分散型電源、原子力、パワー・ジェネレーション・サービス、再生可能エネルギー、火力発電向け機器、およびウォーター & プロセス・テクノロジーの 6 つの事業部が属しています。パワー&ウォーターはニューヨーク州スケネクタディに本社を置き、GE として最大の産業部門です。

* General Electric Company の登録商標です。



【参考画像】

中部電力・上越火力発電所



<本件に関するメディアの方からのお問い合わせ先>

日本 GE 株式会社 PR 事務局（コスモ・ピーアール内）担当：岩谷・大貫

TEL：03-5561-2915 FAX：03-5561-2912 Email:ge@cosmopr.co.jp